

1日1回、30秒で“気づいたこと”を送るだけ

難しい日報を書く必要はありません。

今日の仕事で気づいたこと、
お客様から言われたこと、
困ったこと、もっと良くなりそう
と思ったことを、
一言だけ送ってください。

箇条書きでも、
雑な文章でもOK

AIが読みやすく整理してくれます。

これは「監視」ではなく、
お店をもっと良くするための仕組みです。

気軽に投稿してください

スタッフへの伝え方：そのまま使える文面

店長・オーナー様向け

今日から「今日の気づき投稿」を始めます。

難しい日報を書く必要はありません。今日の仕事で気づいたこと、お客様から言われたこと、困ったこと、もっと良くできそうと思ったことを、一言だけ送ってください。

箇条書きでも、雑な文章でも大丈夫です。AIが読みやすく整理してくれます。

投稿するとポイントが付きます。良い気づきには店長から追加ポイントやコメントが入ることもあります。

お店をもっと良くするための仕組みなので、気軽に送ってください。

伝える時のポイント

- ・「義務」ではなく「気づき共有」と伝える
- ・一言、箇条書き、雑な文章でOKと強調
- ・投稿に対して店長がコメントする
- ・まずは投稿数を増やすことを優先

店長の反応が、継続率を左右します。

何を投稿すればいい？

スタッフに伝える時は「日報」より「気づき」

“すごいこと”でなくて大丈夫。小さな気づきが、お店の改善につながります。

1

お客様の声

「おすすめは？」
「待ち時間が長い」
「これ美味しかった」など

2

ちょっと気になったこと

床が濡れていた
レジ前が混んだ
案内が分かりづらい など

3

もっと良くなり そうなこと

POPを変えたい
並び方を変えたい
声かけを統一したい など

4

困ったこと

新人が迷った
外国語対応で困った
在庫が分かりにくい など

投稿例：

「おすすめメニューを聞かれることが多いけど、説明がスタッフによってバラバラ。
厨房の人が最初に“今日はこれ推して”と言ってくれたら助かる。」

一言・箇条書き・雑な文章でOK。AIが整えます。

投稿から改善までの流れ

スタッフの投稿が、お店の改善アクションへ



スタッフ側のメリット

- ・ 短文で済むので負担が少ない
- ・ 気づきが店長に届く
- ・ ポイントやコメントで評価される

店舗側のメリット

- ・ 現場の声が集まる
- ・ クレーム兆候や改善点を早く拾える
- ・ 売上・接客・安全面の改善に活かせる

投稿は「作業」ではなく、“お店を良くするための気づき共有”として伝えるのがポイントです。

ポイント設計例

まずは「投稿したこと」を評価する

減点はなし。投稿しやすい空気を作ることが大切です。

ポイント付与例

投稿

+1pt

まずは送ってくれたことを評価

お客様の声

+2pt

良い声・気になる声どちらもOK

改善アイデア

+3pt

もっと良くなりそうな提案

問題点・課題点

+3pt

困りごと・ヒヤリハット共有

店長ナイス評価

+5pt

良い気づきに追加評価

おすすめ：導入初期は「投稿ポイント」＋「店長コメント」を重視。ランキング化は急ぎすぎない。

モチベーションが上がる特典例

店舗ごとに選べる運用案

競争だけにせず、「参加した人にチャンスがある」設計が導入しやすいです。

おすすめ

月10回以上投稿した人の中から
抽選で3名にプレゼント

3,000円分ギフトカード

文章が得意な人だけに偏らず、参加率を上げやすい運用です。

ポイント上位3名にプレゼント

1位：5,000円分ギフトカード
2位：3,000円分ギフトカード
3位：1,000円分ギフトカード

店舗特典の例

まかない無料券／好きなドリンク1杯
シフト優先希望券／店長からの表彰カード
※金銭以外でも十分に動機づけできます。

初月は「抽選型」→慣れてきたら「ナイス気づき賞」や「上位表彰」を追加する流れがおすすめです。